

各位

会社名 ファナック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山口賢治
 (コード番号: 6954 東証第一部)
 問合せ先 広報部長 藤井敬介
 (連絡先: 0555-84-5555)

剰余金の配当（特別配当を含む）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2019年3月31日を基準日とする剰余金の配当（特別配当を含む期末配当）につき、2019年6月開催予定の第50回定時株主総会において下記のとおり提案することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

基準日	2019年 3月31日		2018年 9月30日	2018年 3月31日
	決定額	直近の予想	実績	実績
1株当たり 配当金	404円92銭 (普通配当224円34銭) (特別配当180円58銭)	—	598円19銭 (普通配当252円87銭) (特別配当345円32銭)	297円75銭
連結配当性向	108.3% (普通配当60.0%) (特別配当48.3%)	—	141.9% (普通配当60.0%) (特別配当81.9%)	60.0%
配当金の総額	78,486百万円	—	115,950百万円	57,715百万円
効力発生日	2019年 6月28日	—	2018年 12月3日	2018年 6月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様への利益還元につきまして、2015年4月27日付で以下の基本方針を公表しております。

1. 配当について

株主の皆様への長期的な利益還元をさらに充実させるため、連結配当性向を60%とする。

2. 自己株式取得について

成長投資とのバランスを考慮し、株価水準に応じて、今後5年間の平均総還元性向を最大で80%とする範囲内で自己株式取得を機動的に行う。

(注) 5年間の平均総還元性向とは、5年間の当期純利益の合計金額に対する配当金と自己株式取得の合計金額の比率です。

3. 自己株式の消却について

自己株式の保有は発行済株式総数の5%を上限とし、それを超過する部分は原則として每期消却する。

当社は、2015年4月27日付の発表以降、上記基本方針に基づき株主還元を実施してきました。当期末は、連結配当性向60%の配当に加えて、当年度を含むこれまでの5年間の総還元性向を最大の80%とする場合に60%の配当の他に追加で必要となる還元額(*)のうちの約1/2相当額を、自己株式取得に代えて特別配当として還元することとしたものです。

$$\left[\begin{array}{l} * (2014 \text{ 年度} \sim 2018 \text{ 年度までの各事業年度の当期純利益の計}) \times 20\% \\ - (\text{当該各事業年度に実施済の自己株式取得額および特別配当額の計}) \end{array} \right]$$

この結果、当期末配当案は以下のとおりとなります。

	中間配当	期末配当	年間配当
当期(2018年度)			
1株当たり配当額	598円19銭	404円92銭	1,003円11銭
(普通配当)	(252円87銭)	(224円34銭)	(477円21銭)
(特別配当)	(345円32銭)	(180円58銭)	(525円90銭)
配当性向	141.9%	108.3%	126.1%
(普通配当)	(60.0%)	(60.0%)	(60.0%)
(特別配当)	(81.9%)	(48.3%)	(66.1%)
(ご参考)			
前期(2017年度)			
1株当たり配当額	265円45銭	297円75銭	563円20銭
配当性向	60.0%	60.0%	60.0%

以上